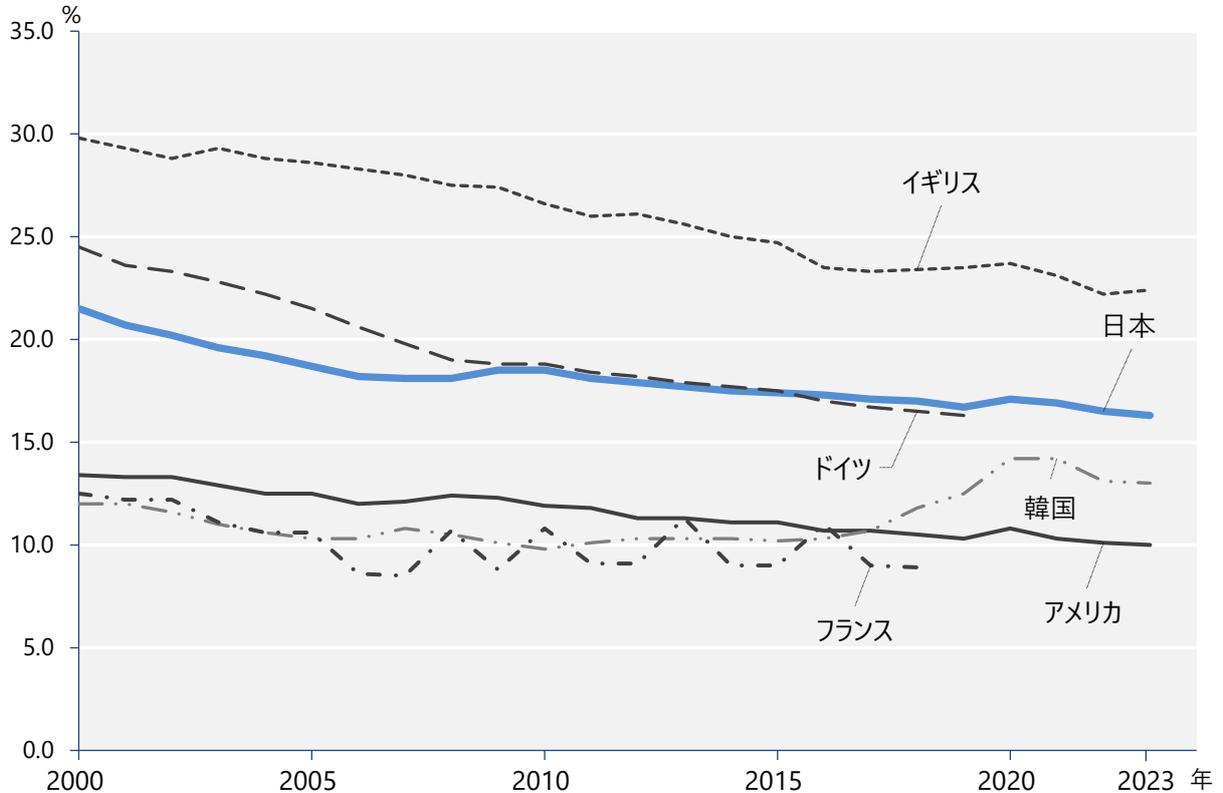


7-1 労働組合組織率の推移



関連表 p.226 「第 7-2 表 労働組合組織率」

主要国の労働組合組織率の変化をみると、ほとんどの国で過去20年余りにわたって低下傾向にある。相対的に組織率の高い国ほど、急速な低下を経験しており、例えばイギリスでは、2000年の29.8%から2023年には22.4%と7.0ポイント低下、日本では、同じ期間に21.5%から16.3%へと5.2ポイント低下している。また、ドイツでは、2000年の24.5%から2019年には16.3%と8.2ポイント低下している。

なお、韓国ではここ数年、他の各国とは対照的に、組織率が上昇していたが、2022年以降は下落に転じている。